

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790300065		
法人名	社会福祉法人 心愛会		
事業所名	ハーモニー中田		
所在地	郡山市中田町下枝字久保337番地1		
自己評価作成日	平成29年3月9日	評価結果市町村受理日	平成29年5月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/07/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3		
訪問調査日	平成29年3月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設	一人ひとりの利用者様の状態を踏まえて、その方にとって今何が必要か、どう接することで本人様が納得した生活をしていただけるかを本人様・家族様・職員が一緒に考えて、本人様・家族様が、この施設に入って良かったと思っただけの施設を目指しております。又、地域の方々から「ハーモニー中田」が、あって本当に良かった」と思えるような質のよいサービスを常に心掛けるよう努めております。
----	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 地域との連携、交流に取り組み、自治会に加入し、地域の文化祭やクリーン作業へ参加したり、事業所の新年会、芋煮会、夏祭りに地域住民を招いている。特に、夏祭りには地域住民が30名以上参加するなど、行事を通して、地域の事業所への理解が深まっている。
2. 職員の資質向上を図るため、職員が毎月計画的に課題に沿って当番で講義をする取り組みをしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設でも在宅時と同じように、家族や地域の方々との繋がりを保ちながら生活して頂けるように、地域行事への参加や施設行事への地域の方に来て頂くといった取り組みを続けております。	理念を見直し、地域密着型サービスの意義を踏まえたものに修正し、それを毎日唱和し、各種会議で具体的な実践につなげるサービスが出来るよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の保育園への入卒園式・運動会への参加や、管理者が地域新年会や町おこし会議への参加へも行っております。また、施設行事の際には直売所からの野菜の購入など地域に貢献できる取組も行っております。	地域自治会に加入し、地域の文化祭、運動会、クリーン作業への参加、祭り灯籠の出展をしている。事業所の芋煮会、新年会、夏祭りに地域住民を招き、地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター講座を開催したり、運営推進会議で認知症の方への施設の支援の取り組みについて説明しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	運営推進会議で挙げた課題については、次回の運営推進会議までに取り組みを行い、その結果を報告するようになっております。	定期的開催し、利用者状況や職員異動、行事、研修、外部評価、防災訓練、アクシデントによる運営改善点など資料をもとに話し合い、活発な意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	困難事例などでの協力関係は取れておりますが、日ごろからの密な連絡は取れていない状況にあります。	運営推進会議の委員である介護相談員を通じて事業所の運営状況を報告したり、行政との会議でケース検討、運営状況報告、介護医療関連法令等について話し合っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会を設置しており、身体拘束をしないケアや玄関の施錠をしない取組はできておりますが、正しく理解しているかについては、理解不足の点もあるかと思っております。	法人の身体拘束排除マニュアルを周知し、ケアの改善を図るため、委員会を中心に具体的課題をあげ、取り組んでいる。昼の玄関の施錠を含め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	委員会を設置して、虐待防止の取り組みを行っております。事業所内でも虐待が見過ごされないように職員も行動に注意しながら介護にあたっております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会がない状態でした。今後は、内部研修や外部研修への参加を増やしてまいります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	きちんと説明し、納得したうえで署名捺印を頂くようにしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	担当者会議や家族会だけでなく、日頃関わる時や家族の面会時で意見、要望はお聴きして反映できるよう心掛けております。	日頃の会話や家族面会時、家族会活動を通じて、利用者と家族の意見・要望を把握し、運営に反映するよう取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的に意見を聞くようにしており、また、毎月の職員会議や定期の法人面談などで職員の意見や提案を受け、全てではありませんが、必要なことに関しては、事業所の運営に反映させるよう努めています。	管理者は各種会議や個別面談、日頃の業務の中で職員の意見、要望を把握し、運営に反映するよう取り組んでいる。年次有給休暇が取得しやすい環境に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働き易く、やりがいを感じられるように職員の要望には概ね応えてもらっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修や外部研修への参加は勧められてるが、実際に全員が行けているわけではないのが現状です。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での事業所交流等で勉強会や相互訪問は行っておりますが、外部の同業者との交流は外部研修での交流に留まっている状況です。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	話を聞いてもらえる、自分の望むことをやってもらえると思って頂けるように、本人様の思いに寄り添った対応をするよう心掛けております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	表面上の情報だけでなく、家族関係や生活の実態などもお聞きし必要な支援を行えるようにすることで信頼して頂けるような関係作りに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の調査や本人様・家族様からの要望をお聞きし、職員がそれを理解したうえでサービスが開始されるようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの方の状態に合わせて、日常生活で出来る事は手伝って頂くなど一方的に介護される立場にならないよう心掛けております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設で出来る事、家族様が出来る事を説明し、出来る事をやって頂くようにしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様の面会の他に、定期的に家族様との外出や外泊の機会を持って頂けるようお願いしておりますが、全ての方が出来ていないのが現状です。	これまでの関係が途切れないよう家族の協力を得て、馴染みの理美容院の利用や知人の面会、買い物や蕎麦、寿司などの外食、牧場や公園への外出、墓参りなど支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方と一緒にテーブルに座って頂くようにして、孤立しないようにしております。職員が話をするなどの取り組みもしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も、本人様や家族様がよりよい生活が続いていけるように、必要時には相談にのるようにしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	必ずしも本人本位とはなっておりませんが、現在の状況や家族の意向も踏まえたうえで、本人本位に近い形で希望に沿えるよう努力しております。	利用者の行動や会話、家族からの情報により、思いや意向を把握し、家族と話し合い、できるだけ本人本位の支援が出来るよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様だけでなく、家族様からも生活歴をお聞きし施設での生活とこれまでの生活とが同じように過ごして頂けるよう経過を観ながら生活して頂いております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子を日誌に記録し、申し送りでも、いつもと変わった点がないか注意しながら現状の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的な担当者会議での話し合いの機会を持っております。また、本人様や家族様と話す機会を管理者だけでなく各居室担当者や対応した職員が持つようにして今の状況を踏まえた上で介護計画を作成しております。	今までの生活や現在の生活状況、医師の意見や本人、家族の思いをもとに話し合い、介護計画を作成し、利用1ヶ月後に、計画の見直しをしている。その後は6ヶ月毎に介護計画の見直しをするとともに、状況変化時は、状況に応じ迅速に見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	現在のサービス内容で疑問を感じたり、変更の必要性を感じたら、記録するだけでなく、口頭でのやり取りも行い、情報の共有や計画見直しにつなげております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様や家族様のニーズに応えるべく、どうすればそれができるかを職場での会議等で取り上げて実践しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設行事で地域のボランティアの方にお越しいただき地域芸能をご覧頂いたり、地域の保育園の各種行事への参加などの取り組みを行っております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設のかかりつけ医の往診も可能だが、今までのかかりつけ医を希望の方には、その関係を続けて頂いている。施設では本人様希望の主治医との連携を図り適切な医療を受けられる支援しております。	契約時に、利用者や家族と話し合い、希望するかかりつけ医を受診できるよう支援している。協力医は往診で対応しており、協力医以外の通院付き添いは家族の協力で行っている。受診結果の情報はその日の内に報告し、共有されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中で気づいた点は介護職と看護職との間で情報を共有し、適切な受診や看護を受けられるようにしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族・主治医・病院のソーシャルワーカーとの情報交換を行い、入院時の様子や退院に向けた取り組みで協力関係を築いております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りについて説明を行っております。体調に変化が現れて終末期が近づいてきた場合には、家族様や職員で穏やかな最期を迎えて頂けるように、本人様の望むこと、家族や施設で出来る事を話合うようにしております。	契約時に看取り指針により、重度化・終末期対応について、事業所でできる支援内容を説明し、同意を得ている。重度化した場合は、医師や家族、職員が話し合い、方針を共有し支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルを掲示しており、その対応で疑問がある場合などについては、施設看護師に相談するなどして実践力が身に付くようにしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急の場合に冷静に行動することができるように、毎月の消防訓練や年2回(日中想定・夜間想定)の避難訓練を行っております。町内会にも加入して地域の方の協力が得られる体制も築いております。	毎月の消防訓練を行い、夜間を含む火災想定総合防災訓練を年2回実施している。AED操作訓練も行っている。地震風水害を想定した避難訓練は行っておらず、災害時の地域との協力体制の構築、非常備蓄の準備はなされていない。	火災や地震、風水害等の災害時に、昼夜を問わず、利用者が安全に避難できるように出来るだけ多くの避難訓練ができるようにするとともに、災害時の地域との協力体制の構築、非常備蓄が常備できるよう検討して欲しい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	あくまでも年長者として敬う心を持って声掛けを行っております。また、常に安心感を得ていただけるよう笑顔での対応を心掛けております。	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや接し方について、管理者がミーティングや各種会議で周知するとともに、一人ひとりにふさわしい対応を検討し取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話を通じて本人様に思いや希望を表現して頂ける機会を作ったり、言葉で伝えることが困難だったり苦手な方の場合、表情や態度などから職員が推察するような取組も行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意思を尊重して、ご自分のペースで過ごして頂けるようにしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った服装やおしゃれを本人様の希望を聞いたうえで実施するようにしております。女性に関してはお化粧を楽しむ機会も作っております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	施設内で収穫した作物を、皆様と一緒に収穫したり調理することで食事を楽しんで頂けるような状況を作るようにしております。	事業所で収穫したり、家族や地域からいただいた野菜などを利用者とともに調理し、会話を楽しみながら一緒に食事をしている。また、嗜好を取り入れた行事食や季節食、外食などの支援もしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下状態に合った食事形態での提供や摂取動作能力に応じた支援を行い、一日を通じて必要な栄養量を摂取できるように支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で口腔ケアが行える方には確認作業。ご自分では困難な方には口腔ケア介助を行っており、すべての方が良好な口腔内状態を維持できるよう支援しております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間を把握し、トイレへの促しを行ったり、トイレまでの移動や移乗を介助することで、トイレでの排泄自立に向けた取り組みを行っております。	動作や表情から排泄のパターンを把握し、トイレでの自立排泄に向けた支援をしている。排泄委員会が、利用者一人ひとりがより望ましい排泄ができるよう支援のあり方を検討し、取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態に合わせて、消化し易い食事形態への変更。また運動のできる方に於かれましては、レクリエーションや施設内外の散歩などで身体を動かす機会を持って頂き、便秘予防や軽減に努めております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	通常は午前中が入浴時間となっておりますが、午後希望の方や午前中に入れなかった方に午後入浴を実施して頂いてい降ります。また、大浴場での入浴だけでなく、本人様の希望に合わせて個浴場での入浴をして頂くなどの支援を行っております。	週2回、午前または午後に入浴を実施している。また、利用者一人ひとりの身体状況に合わせて、大浴場や個浴、機械浴での入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に限らず日中の臥床時にも、1時間置きに巡視を行い安全に配慮しながら安心してお休み頂けるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をもとに用法や用量を確認できる書面を作成しており、それを元に確認作業をしています。変更があれば書き換える等して最新の情報を把握した状態で服薬の支援と症状の変化の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味・行事への参加・習慣となっている行動・食事での嗜好品の提供・食事や掃除などで役割を持った生活の実践などを行い、気分転換等の支援を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様の協力を得て、外出や外泊に繋がっている方もおりますが、難しい場合には、本人様の希望も聞きながら、施設での外出支援や地域行事への参加で外出の機会を持って頂いております。	日常的に散歩など、一人ひとりの希望に沿って外出できるよう支援している。また、桜やあやめなどの季節の花見や地域の文化祭や保育所の運動会への参加なども行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設では、現金の管理はしていませんが、家族様にその旨お伝えしたうえで少額の金銭の所持をされている方もいらっしゃいます。また、外出支援時や		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お手紙や電話の希望があれば、希望に沿った支援を心掛けておりますが、本人様の状態や家族様の希望からできていない場合がありますのが現状です。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一定の室温と湿度に気を配り、照明の明るさも落ち着いた雰囲気明るさに設定しております。季節毎に花を飾ったり季節のイベントの飾りや実施時の写真を飾るなどして居心地よく過ごしていただけるよう工夫しております。	共用空間の温度や湿度、照明などは快適に調節されている。観葉植物や共同作品、行事写真が飾られ、居心地良く過ごせるよう工夫されている。手摺り拭きや窓拭き、掃除機かけなど利用者とともにできるよう取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間には決まった席があり、そこで気の合う方と過ごすこともできますし、他に、ソファー席を準備しており独り又は二人で本を読んだり休んで頂けるスペースも用意しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている	本人様・家族様と一緒に、居室は自宅にいるような感覚で過ごして頂けるよう、家族との思い出の品やお気に入りの物・趣味の品などを身近に感じていただけるようにしています。	希望により洋間と和室が用意されている。自宅からテレビや椅子、タンスが持ち込まれ、思い出の家族写真や手工芸品などが飾られ居心地良く暮らせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員がお手伝いしながら、本人の身体能力に応じた移動や移乗などで安全に生活していただき、料理や洗い物・清掃・洗濯を、利用者の能力に応じて生活の中に役割を持ってメリハリのある生活して頂いております。		